事　務　連　絡
令和８年 11月9日

管内関係機関 担当者　様

感染症発生動向について

このことについて令和8年第44週(10月26日～11月1日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数（1医療機関当たりの平均報告数）

感染症の種類	県北保健所管内 （平戸市、松浦市、佐々町）			長崎県	全国
	42週	43週	44週	44週	44週
インフルエンザ	5.00	6.00	▲13.00	▲12.90	10.26
新型コロナウイルス感染症	0.67	0	0	0.94	0.80
RSウイルス感染症	0	1.00	0.50	0.52	1.24
咽頭結膜熱	●1.50	●2.00	●4.50	0.35	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	1.00	1.50	1.23	1.41
感染性胃腸炎	5.00	10.50	10.50	3.16	3.25
水　痘	0	0	0	0.35	0.19
手足口病	0	0	0	0.16	0.58
伝染性紅斑	0	0	0.50	0.03	0.02
突発性発疹	0	0	0	0.35	0.26
ヘルパンギーナ	1.50	2.00	1.50	0.74	0.68
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0.03
急性出血性結膜炎				0	0.01
流行性角結膜炎				1.75	0.50
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.05
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0.56
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0

急性呼吸器感染症（ARI）	32.33	31.33	37.33	64.40	61.00

●：警報レベル　▲：注意報レベル

【トピックス】インフルエンザを予防しましょう。

2026年第44週（10月26日～11月1日）の患者報告数は645人で、定点当たり報告数は12.90となりました。県地域保健推進課は、10月8日にインフルエンザ流行注意報を発表しています。

地区別にみると、対馬地区（30.00）で警報レベル、長崎地区（21.27）、県北地区（13.00）、県南地区（11.75）、五島地区（10.67）で注意報レベルの報告数となっています。

年代別では、10歳未満（47%）、10代（23%）が多く、小中学校の臨時休業が報告されています。

注意報が発表され、今後大きな流行が懸念されますので、手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

（参考）厚生労働省 「インフルエンザ総合ページ」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku kansenshou/influenza/index.html

【トピックス】11月は「長崎県感染症対策強化月間」です。

長崎県は、県民の感染症対策に対する理解・協力を促進するため、11月を「長崎県感染症対策強化月間」と設定しています。

「感染症」とは、病気を引き起こす小さな生物（病原体）が体に侵入して症状が出る病気のことで、病原体は細菌、ウイルス、真菌、寄生虫などに分類されます。病原体の性質により、接触感染、空気感染、飛沫感染などの感染経路があります。

いずれの感染症においても、手洗い、換気、マスク着用等の咳エチケットといった基本的な感染症対策が有効です。加えて、一部の感染症においては、発症や重症化に一定程度予防効果のあるワクチンもあります。正しい知識を身につけて、感染対策を心がけましょう。また、新しい感染症の流行に備えて、日頃から準備をしておきましょう。

☆感染症流行への備え（内閣感染症危機管理統括庁ページより抜粋）

・食料品や衛生用品（マスク、手指消毒剤など）、生活必需品を少し多めに準備しておく
・家庭で、学校、保育園等の休業への対応を事前に話し合っておく
・職場で、日頃からオンライン会議やテレワークの準備をしておく

（参考）内閣感染症危機管理統括庁
・感染症の基礎知識
https://www.caicm.go.jp/knowledge/index.html
・基本的感染対策
https://www.caicm.go.jp/houdou/documents/files/infection_prevention.pdf

長崎県県北保健所 地域保健課 健康対策班 TEL 0950-57-3933